

5
May.衛生
トピックス

今月のテーマ:

令和3年 食中毒発生状況

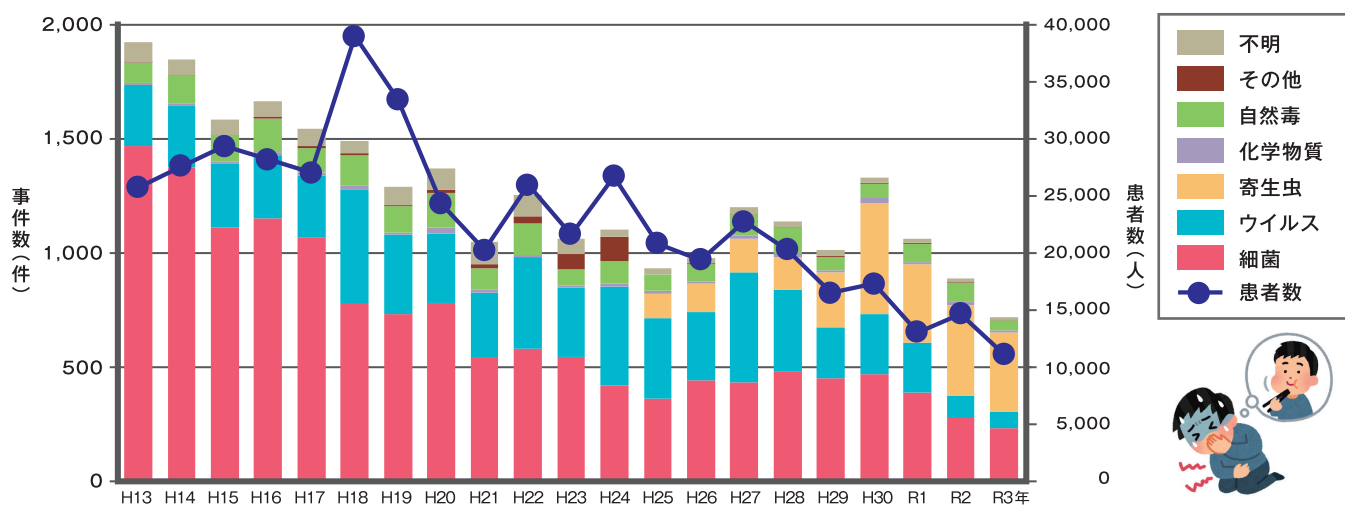
令和3年の食中毒発生状況*が、3月17日に厚生労働省の薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会食中毒部会において報告されました。今月は、その概要についてご紹介いたします。

※令和3年1月～12月までに発生し、食品衛生法に基づき、都道府県知事等から厚生労働大臣に報告のあったものを取りまとめたもの。

事件数、患者数共に過去20年で最少

令和3年に発生した食中毒事件数は717件で、前年の887件より170件減少し、患者数は11,080人で、前年の14,613人より3,533人減少しました。事件数、患者数共に、この20年間で最も少ない発生となり、新型コロナウイルス感染対策による衛生意識の向上や、飲食店の営業時間短縮等が影響したと考えられています。

食中毒発生状況の年次別推移(過去20年間:平成13年～令和3年)



※食中毒事件票の病因物質の種別欄で「その他」として報告されていた寄生虫は、平成25年より、「クドア」「サルコシステス」「アニサキス」及び「その他の寄生虫」と報告されることとなりました。

患者数500人以上の食中毒事例

患者数が500人以上の大規模な食中毒は2件発生しました。

	原因施設 都道府県	発病年月日	原因施設 種別	原因食品	病因物質名	患者数	摂食者数
1	富山市	2021/6/16	製造所	牛乳	病原大腸菌 OUT:H18(疑い)	1,896人	6,243人
2	倉敷市	2021/4/30	仕出屋	不明 (4月26日～29日に提供された給食弁当)	ノロウイルスGⅡ	2,545人	6,453人

※ UT:Untypable(型別不能)

死者が発生した事例

死者が発生した事例は2件でした。

	都道府県	発病年月日	原因施設種別	原因食品	病因物質種別	患者数	死者数	摂食者数	死者年齢
1	小樽市	2021/5/26	家庭	イヌサフラン	自然毒-植物性自然毒	1人	1人	1人	男:70歳～
2	沖縄市	2021/4/14	事業場-給食施設- 老人ホーム	4月13日に調理された 春雨の和え物	細菌-サルモネラ属菌	11人	1人	179人	男:70歳～

■ 病因物質別の食中毒発生事件数・患者数ワースト3

病因物質が判明した事例のうち、**事件数が最も多かったのはアニサキスで344件（前年より、42件減）**、2番目に多かったのはカンピロバクターで154件（28件減）、3番目がノロウイルスの72件（27件減）となり、この順位は前年と同じでした。

患者数はノロウイルスが前年より1,073人増で、4,733人となり最も多く、全体（11,080人）の42.7%を占めています。腸管出血性大腸菌以外の「その他の病原大腸菌」は6件の発生ですが、1,896人の大規模食中毒が発生しており2番目に多くなっています。

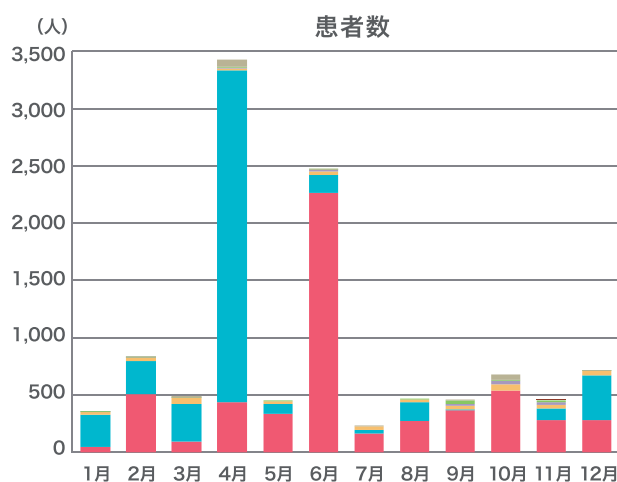
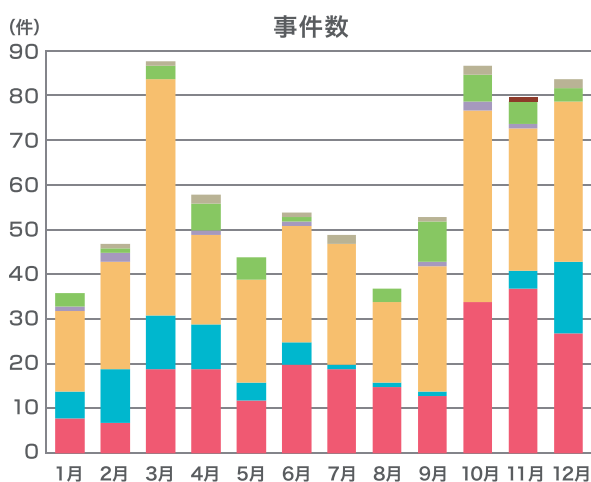
令和3年 病因物質別事件数・患者数ワースト3

	事件数	患者数
①	アニサキス 344件	ノロウイルス 4,733人
②	カンピロバクター 154件	その他の病原大腸菌 2,258人
③	ノロウイルス 72件	ウエルシュ菌 1,916人

■ 月別食中毒発生状況

月別食中毒発生状況は、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が終了した10月以降に増えています。患者数については、4月はノロウイルス、6月にはその他の病原大腸菌による大規模食中毒が発生したため、多くなっています。

令和3年 月別食中毒発生状況

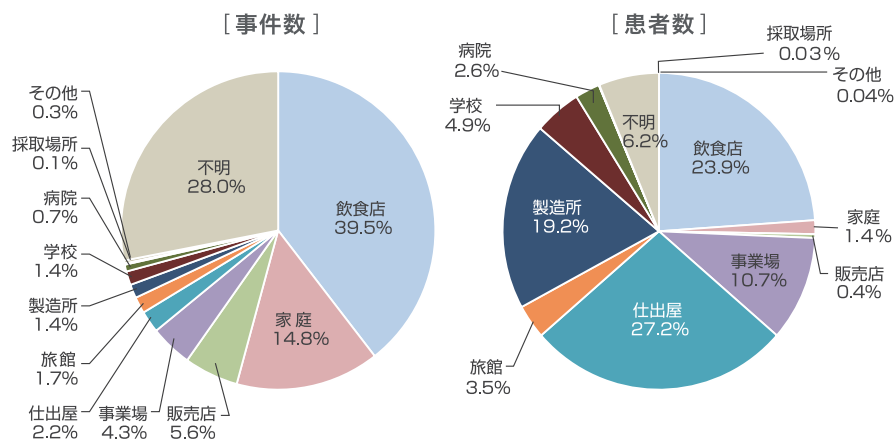


■ 原因施設別食中毒発生状況

原因施設が判明した事例のうち、事件数では**飲食店が283件（前年より、92件減）と最も多く**、次いで、家庭106件、販売店40件、事業場31件、仕出屋16件の順となりました。

患者数で最も多かったのは仕出屋の3,010人（前年より、1,300人減）で、例年最も多い**飲食店**は2番目で**2,646人（4,309人減）**、続いて、製造所2,127人、事業場1,189人、学校542人の順となりました。事件数と比較すると、大規模食中毒の影響で仕出屋と製造所の割合が多くなっています。

令和3年 原因施設別食中毒発生状況



【参考資料】

・令和4年3月17日 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会食中毒部会「資料1 令和3年食中毒発生状況（概要版）」
・厚生労働省食中毒統計資料